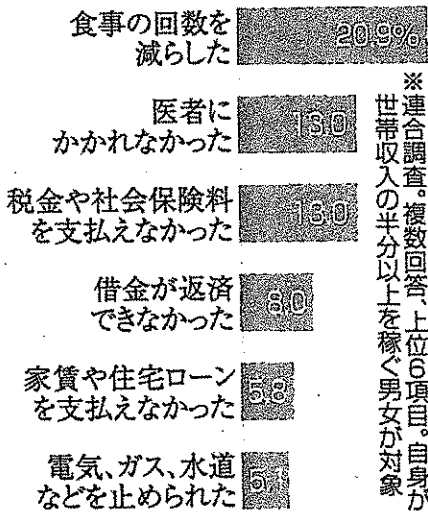


# 生活苦、2割が食事回数減

## 非正規労働者 連合2000人調査

### 非正規労働者の生活状況



※連合調査。複数回答。上位6項目。自身が世帯収入の半分以上を稼ぐ男女が対象

自身が生帯収入の半分以上を稼ぐ非正規労働者は33・9%いた。このうち52・7%が生帯貯蓄に関し「な

指摘した。

担当者は「賃上げのほか、企業が正社員への転換を進めていくことが重要だ」と

「不本意非正規」は32・3%いた。

調査は昨年10月にインターネットで実施。首都圏と中部、関西の計12都府県に住むパートや派遣、契約社員として民間企業で働く20〜49歳の男女計約2千人から回答を得た。

「未婚だったのは全体の53・5%、男性では89・6%に上った。年収が低いほどその割合が高い傾向だった。正社員を希望しても働かないため派遣などで働く

「食事の回数を減らした」が20・9%、「医者にかかれなかった」「税金や社会保険料を支払えなかった」がそれぞれ13%だった。

「生活苦のため過去の1年間で切り詰めたことを複数回答で尋ねたところ」

「生活苦のため過去の1年間で切り詰めたことを複数回答で尋ねたところ」

「生活苦のため過去の1年間で切り詰めたことを複数回答で尋ねたところ」

連合は17日までに、派遣などの非正規労働者が主な稼ぎ手の世帯のうち、2割程度が生活苦のため食事の回数を減らしているとの調査結果をまとめた。男性の9割近くが未婚で、担当者は「働き方の違いが、生活の根幹に大きな影響を与えている」と分析している。